

科名 血液内科 血内133(a)
 対象疾患名 骨髄異形成症候群
 プロトコール名 ビダーザ皮下注

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	...	28
1	皮下注		ビダーザ注 注射用水	75mg/m ² 1Vに付き4mL		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
2	内服	カイトリル細粒	投与1時間前に2mg1包内服			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		

★1コース=28日

～MEMO～

- ・催吐レベル3(30～90%)
 - ・7日間連日投与、21日間休薬
 - ・原則として皮下投与を行うこと。出血傾向など皮下投与が困難な場合は、点滴静注を行う。
 - ・皮下投与の場合、投与直前に再度均一な懸濁液とする。投与量に応じて、複数箇所に分けて投与すること。
 - ・ビダーザによる治療中に高度の骨髄抑制、非血液毒性が認められた場合には、減量の目安により、適切に休薬、減量or投与中止を考慮する。
 - ・調製方法・・・本剤は調製後1時間以内に投与を終了すること。
- 1)皮下投与
 - ①1バイアルあたり4mLの注射用水で溶解、激しく振り混ぜて均一に懸濁させる。
 - 2)点滴注
 - ①1バイアルあたり10mLの注射用水で溶解、激しく振り混ぜて均一に懸濁させる。
 - ②患者の体表面積から換算した投与量を生食50mLで希釈、調製する。